



内田正男 議員

# 現在の農業情勢の先行きは

## 町長 国で十分保護対策が議論されるべきです



**問** 各国の環太平洋連携協定(TPP)参加決定は先送りとなった。奥出雲町は農業が第一産業であり、TPP関税障壁撤廃は、農家に大きな痛手となる。町長のTPP問題の考えは。

**答** 地域経済へ大きな影響がある、農村の多目的な機能を維持し、集落を守るため当然対応は慎重を期し、農業分野への影響は、細かな分析をした上で、国で十分保護対策が議論されるべきことだと思います。

**問** 農政問題もあります。町長として、奥出雲

町からでも環太平洋連携協定の反対署名運動は。

**答** 最終的に参加・不参加の出すに至るまでの間にきちんとしたデータを出し、それぞれの作物について、日本の食糧、食の安全が守っていかれるかどうか、詳しい議論をした上で、最終判断をしていただきたいと言っているのが私の率直な気持ちです。

**問** 個別所得補償は、米価の値下げと同額で、今後の先が見えない、個別所得補償制度の効果については。

**答** 水稲の10a当たり1万5千円の所得補償、怒りを禁じ得ない、なぜかといえますと、全国一律のばらまきで、政策目的が分からないわけで地域の実情無視。先月の下旬、3市町で知事に、今検討されるような考えはやめて頂きたいと言った要望に出かけました。やはりどう言う形の所得補償なら日本の農業を守っていかれるか、より安全・安心な農産物が生産できるか、そういう視点、地域の実情を加味した制度に設計すべき、乱暴な全国一律

で選挙票めあての政策に怒りを禁じ得ないです。

**問** カントリーエレベーターにモミ殻米で入荷すると、もみすり後の玄米単価計算、目減り量が大きいと聞かれますが如何か。

**答** 糸原農林振興課長もみから玄米は、カントリーは約76%で計算します。もう一点は出荷されたお米の被害紛等が多い場合に、品位係数を用いて重量計算を行うと、推計玄米重量が若干少なくになります。

**問** カントリー出荷米30kg1万円だが、JA雲南へ出荷30kgはいくらか。

**答** 糸原農林振興課長本年度も30kg1万円をお支払いします。

**問** JA雲南の仮渡金は5千600円で、最終的には約30kgで6千500円くらいです。

**問** 鬼の舌震観光について、遊歩道からの観光が映えるため、周辺の山に四季に合わせた植栽、または植種(もみじ、樟、草花)等は如何か。

**答** 文化庁への届け出と許可が必要、大変難しい保管管理が基本で、これ

も自然に、種や苗が風に乘って飛んで来るとか、人為的なことじゃない限りには許されると理解をしています。

**問** 舌震バリアフリー遊歩道整備の3年計画事業と土地購入費を合わせた総事業額は、また町負担は幾らか。

**答** 3カ年で遊歩道844m、つり橋160mの整備を行う予定で事業費5億円弱、土地代購入費1億7千万円で全体の総事業費が仮に7億円で、実質の町負担は約1億4千万円です。

**問** 町民が町外離村する空き家の売却申請書(要望書)を提出した場合購入計画は。

**答** 地理的状況や、定住住宅の機能など個別に調査検討をさせていただきます。

**問** ターン者が空き家を賃借して、居住し約15年以上経過した場合、入居者へ売却計画は。

**答** 国の補助金・過疎債起債の、償還適化法で定められた制限期間が経過したものは、ケース・バイ・ケースで検討が可能であると思います。